

各クラブ代表者 様

いつも4種活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

おかげさまで2021（令和3）年度事業も概ね予定通り、また無事に進めることができました。

さて、すでに報道等でご承知のことと存じますが、沖縄・広島・山口に続き、神奈川県が1月21日より3週間程度（2月13日頃まで）の予定で「まん延防止等重点措置」の対象県となりました。つきましては、この期間における小田原サッカー協会4種委員会の活動について、確認させていただくとともに各クラブにおける感染防止についての取り組みのさらなる徹底をお願いしたいと思います。

【確認内容】

☆委員会の取り組み

この期間における主催・主管事業につきましては、原則自粛とします。なお、緊急度・重要度に応じて、常任役員会で必要と認められた会議等は、短時間（1時間以内を目安）で感染防止対策を徹底しながら開催する場合があります。トレセンの活動など少人数の活動で、すでに予定されている事業については、感染防止対策を徹底しながら開催する方向です。参加については、強制ではありません。

協会派遣（招待）試合等は、主催者の判断による開催の可否・感染防止対策に従い実施の場合は参加を認めます。また、委員会の協賛大会等ですでに参加（招待）チームの決まっている大会等については、参加チーム（協会）との合意の下、主催者の判断で活動時間等に配慮しながら開催する場合は協賛を継続するものとします。

☆各クラブの活動

この期間の活動は、できる限り自粛とします。ただし、活動を行う場合は、感染防止対策を徹底し、各クラブの責任と判断の下、活動して良いものとします。なお、活動を行う場合は近隣地域・県内チームとの交流までとし、県外チームとの交流は自粛とする。その他の活動については、委員会の活動を目安として、それに準ずるものといたします。（感染防止対策の具体は各種ガイドライン等を参照）

最後に現在の感染の中心は、オミクロン株へと移り変わり、東京では、新規感染者数の約20%が「10代」及び「10才未満」という報道もあります。「若年層にも確実に感染が拡大しつつある」ということも多くの専門家が指摘しています。4種年代も例外ではありませんので、各クラブではその点にご配慮いただき、「PLAYERS FIRST!」の理念を尊重した取り組みの継続をお願いいたします。また、まだまだ厳しい寒さが続くと思いますが、指導者をはじめ保護者のみなさま方もお体をご自愛いただきたいと思います。

2022年1月21日
4種委員長 杉山 一彦